

令和5年度学生の海外派遣の成果報告

外国語学部

派遣先	韓国 聖公会大学校
派遣期間	令和5年7月～令和5年8月
目的	韓国語を読み、書き、聞き、話す能力を身につけるためには、本学での語学科目の履修に加えて、現地に一定期間滞在し実践的能力を向上させることが有効である。また、現地で韓国の社会・文化に直接触れることは、韓国語能力の向上だけでなく、韓国・朝鮮に対する理解をさらに深めることにもつながる。こうしたことから韓国海外研修は、東アジア学科において極めて重要な意義を有している。
教育研究活動	<p>授業科目である。事前研修において東アジア学科韓国コースの専任教員がリレー方式でソウルの歴史的変遷や都市構造、歴史的遺産について講義するとともに現地で必要とされる実践的な語学運用能力の向上やフィールドワーク計画の立案などを実施。現地においては、自身のレベルに応じたクラスにおいて語学学習に取り組んだ。加えて語学学習以外でも伝統文化体験や史跡訪問などの行事を実施。</p> <p>事前に韓国で調査するテーマを決め、事前調査を行い、研修期間中に韓国での研修期間中実際調査などを行った後、帰国後その結果を報告した。</p>

## 令和5年度学生の海外派遣の成果報告

### 外国語学部

派遣先	台湾 国立台湾師範大学
派遣期間	令和5年8月～令和5年8月
目的	本海外派遣の目的は、現地での語学研修や体験学習を通じて、中国語の運用能力を高め、異文化や台湾社会に関する見聞を広めることで、帰国後の東アジア学科での学びを一層充実させることにある。
教育研究活動	授業科目である。台湾の大学において3週間およそ80時間の授業を受講する。事前研修において東アジア学科中国コースの専任教員がリレー方式で台湾の文化・歴史・政治・社会について「台湾」の特殊な政治的存続を考慮しながら講義するとともに現地での日常生活や学習活動に必要な実践的な語学運用能力のトレーニングを実施。現地においては、自身のレベルに応じたクラスにおいて語学学習に取り組んだ。加えて語学学習以外でも伝統文化体験や史跡訪問などの行事を実施。